

教科	技術・家庭	学年	第2学年
----	-------	----	------

単元名	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生物の生育環境と育成技術	○ 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を理解する。 ○ 生物育成に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。 ○ 生物を取り巻く環境が与える影響の知識を身に付けている。	・生物の育成環境などの基礎的な技術の仕組みの知識を身に付けている。 ・作物、動物及び水産生物の成長、生態などの科学的な原理・法則の知識を身に付けている。		・進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
生物育成の技術を利用した栽培	○ 栽培に意欲的に取り組もうとしている。 ○ 目的とする生物の育成に必要な条件を考えることができる。 ○ 目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培ができる。 ○ 育成する生物における管理作業や必要な知識を身に付けることができる。	・管理作業や観察などを通して、安全・適切に育成環境の調整や、作物の管理・収穫ができる。 ・生物に適した栽培計画を立てることができる。	・育成計画に基づき、記録したデータと作物の生育状況とを比べながら合理的な解決作業ができる。 ・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、生物育成の技術が最適化されてきたことに気づくことができる。 ・生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用の在り方についてまとめることができる。	・進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ・生物の管理作業の過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとしている。
エネルギー変換の技術の問題解決の工夫を調べる	○ エネルギー変換についての科学的な原理・法則の仕組みについて理解している。	・エネルギー変換についての科学的な原理・法則と、エネルギー変換の基礎的な技術の仕組みの知識を身に付けている。	・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り、エネルギー変換の技術の見方・考え方に気づくことができる。	・進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解しようとしている。
エネルギー変換機器の仕組みと保守点検	○ 意欲的に製作に取り組むことができる。 ○ 機器の保守点検と事故の防止ができる。 ○ 機器の構造についての知識を身に付けている。	・エネルギー変換についての科学的な原理・法則と、エネルギー変換の基礎的な技術の仕組みの知識を身に付けている。 ・工具を適切に使い、機器の保守点検や事故の防止の知識を身に付けている。	・より安心・安全な社会の構築を目指して、エネルギー変換の技術を評価し、適切な管理・運用の仕方や、改良の方向性について提言できる。	・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
エネルギー変換の技術を利用した製作品の設計・製作	○ 意欲的に製作に取り組むことができる。 ○ 製作品に適したエネルギー変換方法、構造や電気回路などを組み立てることができる。 ○ 設計に基づき製作品の組み立てや配線、点検ができる。 ○ 組立てや工具や機器の適切な使用方法について知識を身に付けている。	・設定した課題に基づき回路図を表すことができる。 ・工具を適切に用いて、安全・適切に製作することができ、製作品の動作点検及び調整等ができる。	・製作の過程に対する改善及び修正を考えることができる。	・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。 ・より安心・安全な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造していこうとしている。
ネットワークを利用した双方向のあるコンテンツのプログラミングによる問題の解決	○ 情報通信ネットワークの構成を理解することができる。 ○ 安全・適切なプログラムを制作することができる。	・安全適切なプログラムの制作、及びデバッグ等ができる。	・プログラムがよりよいものとなるよう改善及び修正を考えることができる。	・進んで情報の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。
ガイダンス	○ 食生活を振り返り、食事の大切さ、重要性を理解する。	・食事の大切さや役割を理解している。	・食生活を振り返り、課題を見出し、解決策を構想しようとしている。	・食生活を振り返り、自分自身の食生活の課題を見つけようとしている。
食事の役割と中学生の栄養の特徴	○ 五大栄養素や基礎食品群の分類を理解する。 ○ 必要な栄養素と、その栄養を摂取するための必要な摂取量を考える。 ○ バランスを考えた献立を考える。	・自分たちに必要な栄養素を理解できたか。またその栄養を摂取するためには何をどのくらい食べれば良いかを理解している。 ・様々な食品を組み合わせることの重要性を考え、献立を適切に作成している。 ・生活の中で食事が果たす役について理解している。 ・中学生に必要な栄養の特徴が分かり、健康により食習慣について理解している。	・バランスや彩りなどを工夫して献立を立てようとしている。 ・自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・自分たちに必要な栄養素を知ろうとしている。 ・よりよい生活の実現に向けて、食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
中学生に必要な栄養を満たす食事	○ 日本の伝統行事ごとに食べられてきた食事を知り、文化の大切さを知る。 ○ 日本の食料自給率の現状から今後を考える。	・行事ごとの食事とそのもつ意味を理解できる。 ・栄養素の種類と働きが分かり、食品の栄養的な特質について理解している。 ・中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、1日分の献立作成の方法について理解している。	・食料自給率の現状から、今自分にできることを考え、実践できることを構想しようとしている。 ・中学生の1日分の献立について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・食の問題を理解し今後の食選択を展望できる。 ・よりよい生活の実現に向けて、中学生に必要な栄養を満たす食事について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
食の問題を見つめる	○ 栄養バランスを整えた献立を考える。 ○ 使う食材の特徴や、調理性を考える。 ○ それぞれの考えた献立の発表を行う。	・栄養素の特徴と効果を理解したうえで、献立を考えることができる。	・食品に合った調理方法を工夫して選択しようとしている。	・日本の食問題や世界の食事情、環境問題について興味をもち自分にできることを考えようとしている。

単元名	単元の到達目標（小単元のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
日常食の調理と地域の食文化	○食べ物が自分自身をつくることを知り、より良い食品選択が必要だと理解する。 ○生鮮食品・加工食品のメリット・デメリットを考え、特徴を生かした食選択を考える。 ○生鮮食品の出盛り期や加工食品の特徴を知り、的確に食品が選択できる。 ○伝統的な調理法、現代の技術による加工法を理解する。 ○家庭での食品ごとの保存方法を理解する。 ○加工食品に使われている添加物の問題点や危険性について考え、食選択を展望する。 ○肉、魚、野菜などの特徴を生かした調理法や料理を知る。 ○調理で注意すべきこと、安全な器具の使い方を理解する。	・焼く、煮る、蒸すなどの調理方法のそれぞれの良さを理解しているとともに調理が適切にできる。 ・日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに、適切にできる。 ・食品や調理用具等の安全と衛生に留意した管理について理解しているとともに、適切にできる。 ・材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに、基礎的な日常食の調理が適切にできる。 ・地域の食文化について理解しているとともに、地域の食材を用いた和食の調理が適切にできる。	・自分自身の体をつくる食品の選び方や組み合わせ方を工夫しようとしている。 ・食品に合った切り方や調理方法を工夫しようとしている。 ・食品の保存方法を知り、家庭に合った食品の方法を工夫しようとしている。 ・日常の1食分の調理における食品の選択や調理の仕方、調理計画について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・家庭での食品ごとの保存方法を理解し、家庭での生活を見直そうとしている。 ・加工食品に使われている添加物の問題点や危険性について考え、食選択を展望し、自分の考えをまとめようとしている。 ・和食や一汁三菜の食事の良さを知り、興味を持つようとしている。 ・食の問題を理解し今後の食選択を展望し、自分の考えをもととしている。 ・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、日常食の調理と地域の食文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
消費生活と環境	○消費活動に伴う、権利と責任を理解し環境に配慮した消費生活について考える。 ○中学生に多いトラブルについて考え、その解決方法や対策を考える。 ○環境や資源に配慮した暮らし方を理解させ、環境に配慮した生活について考える。	・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。 ・売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応について理解しているとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。 ・消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	・物資やサービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
食生活・消費生活についての課題と実践	○食生活・消費生活を通して課題を設定し、実践したことをまとめる。生活を豊かにする方法を考え実践してみた成果と課題から改善策を考える。	・今までの食生活・消費生活で学習した基礎内容を理解している。	・食生活・消費生活の中から問題を見い出して課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、食生活・消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。